



安全データシート

1/6

1. 化学品及び会社情報

製品の名称	ペリセア® L-30
SDS 整理番号	CO-003
供給者の会社名称	旭化成ファインケム株式会社
住所	〒530-6130 大阪市北区中之島3丁目3番23号
担当部門	品質保証部
電話番号	06-7636-3173
FAX 番号	06-7636-3172
緊急連絡先(平日・昼間) 技術開発部	06-6472-3156
(休日・夜間) 延岡製造所	0982-33-2025
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	化粧品原料
使用上の制限	『16. その他の情報』に記載

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:	区分に該当する危険有害性クラスはなかった	
健康有害性:	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入:ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性:	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:	シンボルなし	
注意喚起語:	なし	
危険有害性情報:	H402	水生生物に有害
注意書き:【安全対策】	P273	環境への放出を避けること
【廃棄】	P501	内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること



安全データシート

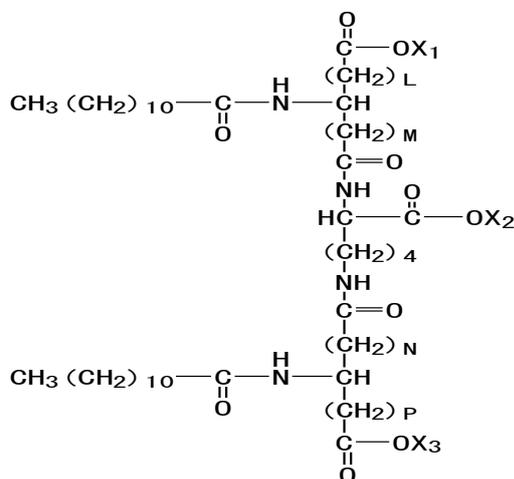
2/6

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物
 一般名：ジラウロイルグルタミン酸リシンナトリウム液

	ジラウロイルグルタミン酸リシンナトリウム	水
化学式または構造式	注1 (PL)	H ₂ O
濃度	29重量%	71重量%
CAS番号	1243654-79-6	7732-18-5
官報公示番号 化審法 安衛法	(2)-4042 2-(4)-1081	—
EINECS (EU)	未収載	231-791-2
TSCA (米国)	収載	収載
REACH (EU)	登録済み	非該当
IECSC (中国)	未収載	収載
K-REACH (韓国)	未収載	KE-35400

注1 (PL)



L、Mは0か2の整数。
 Lが2の時Mは0。
 Lが0の時Mは2。
 N、Pは0か2の整数。
 Nが2の時Pは0。
 Nが0の時Pは2。
 X₁、X₂、X₃はNaかH。
 同時に全てがHではなく、
 同時に全てがNaでもない。

4. 応急措置

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすいような姿勢で休息をとらせる。気分が悪い時は、医師に相談する。
 皮膚に付着した場合：皮膚を多量の水で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。



安全データシート

3/6

- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合： 水で口の中を良くすすぐ。
気分が悪い時は医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 水溶液なので特に限定はなく、周辺の火災に適切な消火剤を使用する。
- 特有の危険有害性： 利用可能な情報はない。
- 特有の消火方法： 周辺火災の場合には、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合には、周辺に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護： 消火作業の際には、必ず保護具を着用し、風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
こぼれた場所は滑りやすいため注意する。
- 環境に対する注意事項：河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：
乾燥土、砂や不燃材料で除去後、水で濡らしたウエス等で拭き取ってから水で洗い流す。
- 二次災害の防止策： 床に濡れた状態で放置すると滑り易くスリップ事故の原因となるので注意する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 状況に応じて局所排気装置等を用いる。
漏れや溢れがないように管理し、みだりに蒸気を発生させない。
- 安全取扱注意事項： 適切な保護具を使用し、薬品の接触に注意する。
- 接触回避： 水を含むので、禁水性物質との接触を避ける。
- 衛生対策： 取扱後はよく手を洗うこと。

保管

- 安全な保管条件： 密封して、直射日光を避け、冷暗所に保管する。開封後は速やかに使い切る。
やむを得ず後日使用する場合は冷蔵保管とし、極力早期に使用する。
空気との接触による細菌類(一般生菌、真菌)の増殖に注意する。
- 安全な容器包装材料： ポリエチレンを内面にラミネートした金属缶、ステンレス容器やポリエチレン容器
に入れ、密栓することが望ましい。



安全データシート

4/6

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：	設定されていない。
許容濃度：	日本産衛学会(2021年版) 設定されていない。 ACGIH(2017年版) 設定されていない。
設備対策：	状況に応じて局所排気装置等を用いる。
保護具：	呼吸用保護具 必要に応じて、保護マスクを着用する。 手の保護具 必要に応じて、保護手袋を着用する。 眼及び顔面の保護具 必要に応じて、保護眼鏡(ゴーグル型)を着用する。 皮膚及び身体の保護具 必要に応じて、保護服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	無色～淡黄色液体
臭い：	わずかに特異なにおい
pH：	6.0～8.0
融点・凝固点：	データなし
沸点：	データなし
可燃性：	不燃物
引火点：	不燃物
爆発範囲：	不燃物
自然発火点：	不燃物
分解温度：	データなし
動粘性率：	データなし
比重(密度)：	データなし
溶解度：	水と混和する アセトンに難溶
n-オクタノール／水分配係数(log値)：	該当しない
蒸気圧：	データなし
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性：	反応性データなし
化学的安定性：	通常取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性：	水を含むので、禁水性物質と反応する可能性がある。
避けるべき条件：	長時間にわたり、60℃以上の環境下で保管すると、アミノ酸と脂肪酸への加水分解が進行する。
混触危険物質：	禁水性物質
危険有害な分解生成物：	特に有害で危険な化合物などは生成しない。



安全データシート

5/6

11. 有害性情報

急性毒性：	経口 ラット	LD ₅₀	>2,000 mg/kg ^{*1}
皮膚腐食性／刺激性：	モルモット	無刺激	(20%-水溶液、Draize法) ^{*1}
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	ウサギ	最小の刺激	(5%-水溶液、Draize法) ^{*1}
		無刺激	(1%-水溶液、Draize法) ^{*1}
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	皮膚感作性	モルモット	陰性 (GPMT法) ^{*1}
生殖細胞変異原性：	Ames試験(大腸菌、サルモネラ菌)		陰性 ^{*1}
発がん性：	データなし		
生殖毒性：	データなし		
特定標的臓器毒性			
(単回ばく露)：	データなし		
特定標的臓器毒性			
(反復ばく露)：	NOAEL(無毒性量)	1,000 mg/kg/D	
	特定標的臓器見つからず	(28日間反復投与試験 経口 ラット) ^{*1}	
誤えん有害性：	データなし		

備考:濃度又は重量は純分を表示

12. 環境影響情報

生態毒性：			
水生環境有害性 短期(急性)(ジラウロイルグルタミン酸リシンナトリウム)：			
魚	LC ₅₀ -96hr	9.4mg/L	(シマヒメハヤ) ^{*1}
藻類	ErC ₅₀ -72hr	109mg/L	(緑藻) ^{*1}
甲殻類	EC ₅₀ -48hr	47mg/L	(オオミジンコ) ^{*1}
水生環境有害性 長期(慢性)(ジラウロイルグルタミン酸リシンナトリウム)：			データなし
残留性・分解性(ジラウロイルグルタミン酸リシンナトリウム)：			
	生分解度83% (BOD 28日) ^{*1}		
	環保業第5号、薬発第615号、49基局第392号<微生物等による化学物質の分解度試験> ^{*1}		
生態蓄積性：	データなし		
土壤中の移動性：	データなし		
オゾン層への有害性：	データなし		
	モントリオール議定書付属書に含まれる成分を含まない。		

備考:濃度又は重量は純分を表示

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。



安全データシート

6/6

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装： 容器は清浄にして内容物を完全除去した後、リサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号：	該当しない
国際規制：	海上規制情報 IMDG 該当しない 航空規制情報 IATA 該当しない
国内規制：	陸上規制情報 該当しない 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。 航空規制情報 航空法の規定に従う。
特別の安全対策：	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒落下、損傷がないように積みこみ、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号：	該当しない

15. 適用法令

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 第42条2項 該当

16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の実施を前提としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、弊社は、SDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

引用文献 *1：自社データ